

藍住町 議会だより

第51号

平成19年11月25日

発行 藍住町議会
 編集 議会だより編集委員会
 徳島県板野郡藍住町奥野
 字矢上前52-1
 電話 (088)637-3127
 FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



国民文化祭
 藍住町総合開会式

東小学校・東中学校
 児童・生徒による阿波踊り



CONTENTS

9月定例会	P. 2
議員6人が一般質問	P. 5
視察研修報告・町民の声	P.11
議会のうごき	P.12

9月定例会

9月定例会議会が9月10日から20日までの11日間の会期で開会された。

平成18年度藍住町特別会計歳入歳出決算の認定など9議案と、議員提案の3議案を原案のとおり可決した。

町長提案

- 平成18年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)歳入歳出決算の認定について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計(老人保健事業)歳入歳出決算の認定について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計(介護保険事業)歳入歳出決算の認定について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計(藍寿苑介護サービス事業)歳入歳出決算の認定について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計(水道事業)歳入歳出決算の認定について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計(下水道事業)歳入歳出決算の認定について…………… 原案可決
- 平成19年度藍住町一般会計補正予算について…………… 原案可決
- 政治倫理確立のための藍住町長の資産等の公開に関する条例の一部改正について…………… 原案可決
- 藍住町固定資産評価審査委員会委員選任の同意について…………… 山田俊昭

議員提案

- 藍住町議会委員会条例の一部改正について…………… 原案可決
- 道路整備の推進と道路財源の確保に関する意見書について…………… 原案可決
- 悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、
割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める請願書…………… 採 択
- 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書について…………… 原案可決

諮 問

- 人権擁護委員候補者の推薦について…………… 廣瀬浩美
松本法雄
小西茂之

平成19年 第1回臨時議会

8月23日開催の臨時会において次の議案が上程され、原案のとおり可決した。

藍住町西クリーンステーション燃焼設備他改修工事の請負契約の締結について

- 請負額 510,300,000円
- 請負業者 エスエヌ環境テクノロジー株式会社

平成19年 第2回臨時議会

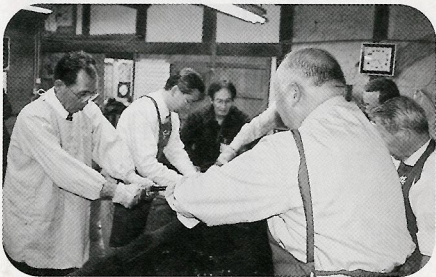
10月11日開催の臨時会において「控訴の提起について」の1議案が上程され、原案のとおり可決した。

友好都市 山形県河北町議会来町

十月二十六日〜二十七日、山形県河北町より田宮栄佐美町長をはじめ増川修議長ら十五名の議員団が来町され、勝瑞館跡で開催された国民文化祭藍住町総合開会式に出席。式典終了後には東小学校・東中学校の児童生徒によるアトラクションの阿波踊りがあり、大変喜んでいただきました。また、藍の館や国民文化祭企画展等を見学、本町議員とも交流を行いました。

に名をはせており、紅花の文化が育まれてきています。この紅と藍という伝統文化をとみに継承する町として、べに花の里河北町と平成三年に友好都市を結び、文化交流をはじめとする様々な交流を行っています。

今後、より一層、紅と藍の絆を深めていこうと誓いあいました。



平成19年度 一般会計補正予算

- * 歳入・歳出とも7,200万円増額
- * 予算総額84億6,200万円

主な補正の内容

総務費

家屋評価システム導入及び旧地図表装業務委託料
 ……………480万円

民生費

障害者自立支援医療扶助費
 ……………370万円

土木費

都市計画図作成業務及び都市計画マスタープラン策定費
 ……………1,570万円

教育費

「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究」事業費
 ……………338万円

平成18年度 特別会計決算額

単位:万円(1万円未満四捨五入)

事業	歳入	歳出
国民健康保険事業	26億7,961	23億9,141
老人保健事業	17億8,423	17億6,442
介護保険事業	15億8,023	14億8,250
藍寿苑介護サービス事業	3億3,074	3億 532
水道事業(収益的収支)	5億 126	3億2,471
水道事業(資本的収支)	6,432	3億3,840
下水道事業	6億2,540	5億8,444

四国地区町村議会議長会表彰



藤田 吉雄 議員

十月十一日、鳴門市文化会館において四国地区町村議会議長会表彰が行われ、町村議会議員として通算十九年以上在職し、功労のあつた藤田吉雄氏が表彰されました。

総体質問

問 子供の安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究事業とはどのようなものか。

答 幼稚園四校、小学校四校、中学校二校すべてに一括して不審者情報等をコンピュータから提供できるシステムを研究導入する事業である。

問 「都市計画マスタープラン」とはどのようなものを作るのか。

答 基本計画をもとに、より詳しく現実的なものの内容を作成する。今の状態では面積一万㎡以上の店舗については進出ができず、マスタープランが将来的な地区計画を作るときの必須条件になってくる。

問 教育総務費の補正内容は。

答 特別支援教育の支援費で、新規事業として取り組み、特別支援教員を小中学校六校に各一名ずつの配置をお願いするものである。

問 水道の未収金について、以前の金額とあまり変わっていない。その他を含めた未収金全体にしても毎年増えているように思うが。

答 個別訪問をしたり、悪質な滞納者には給水停止も行っているが、今まで以上に徴収努力し、来年はこの数字が上回るようにしたい。

町からの主な報告

指定ごみ袋の収集開始

九月から指定ごみ袋での収集を開始、ほとんど指定されたごみ袋で搬出していたが、氏名が正確に記入できていない袋もあり、集積場所に残したものもある。

集積場所付近の住民の方にはご迷惑をおかけしているが、指定ごみ袋導入の趣旨をご理解いただきたい。また、町としては収集の円滑化を図られるよう、早急に自治会や関係者の皆さんと協議をしていく。



「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究」事業

子どもたちの安全を守るために、不審者情報を有効かつ迅速に発信するシステムを構築し、保護者や関係機関と連携し情報の共有を図ることを目的として、調査研究を進める。

藍寿苑の給食民間委託基本計画

藍寿苑利用者家族へのアンケート調査、意見交換会を実施。これらの結果を反映した基本計画のとりまとめを行っている。

本町の財政

主な財政指標では、経常収支比率が八七・二％、実質公債費比率が一・一％、財政力指標は〇・七二である。今後とも集中改革プランに基づき、より効率的な行政運営の推進と住民サービスの向上に努めたい。

陳情

2件の陳情がありました。

▼非核・非武装・戦争放棄、平和な社会の実現を求める陳情書

陳情者 日本青年学生平和友好祭徳島県実行委員会

▼通信と金融のユニバーサルサービスを維持するために、郵政民営化の凍結を求める意見書提出に関する陳情

陳情者 郵政民営化に反対する徳島の会

ごみ袋有料化

今後も周知を図っていく

問 九月から実施の指定ごみ袋有料化による収集初日、氏名が書いてないとの理由で収集しなかったことで、町民からごみ収集に関しての批判や苦情等の抗議が殺到したと聞く。七月中旬から実施した町内一万一千所帯に指定ごみ袋の試供品と、分別ガイドブックを町職員が各世帯に実施期間や分別方法について直接説明に廻ってPRしたと聞いたが、このような結果では町民に対してのPR不足ではなかったか。現在のゴミ収集と不法投棄の現状はどうなっているか。

答 住民の皆様には御協力をいただき、ごみ袋に記名をすることにより、ごみの分別と減量に効果があったと考えている。

四月の駐在員会に始まり、各世帯への回覧板、広報誌、広報車によるPR、A Iテレビ、町職員による直接説

明と啓発活動に努めてきたが、再度、回覧板やビラの配布、個別説明など今後も周知に努めたい。

集積所に指定ごみ袋以外や地区外のものがあるが、不法投棄は現在のところあまりない。



小川 幸英 議員

歩道の整備について

今後、改良に努めたい

問 町内の歩道において凹凸がある危険箇所が何箇所もある。子供の登下校時は勿論のこと障害者用の電動

車は実際に通行できない箇所が多い。安心安全の歩道や道路の整備を早急に取り組んでは如何か。

答 危険度の高い箇所や歩道を切り下げて急勾配になつている箇所においては、付近全体を切り下げることにより急勾配をなくすなど、計画を立てて改修を図りたい。

子供たちの登下校について

子供一〇番の家は登下校時の安全対策の大切な役割を果たしている

問 いついかなる時でも不審者被害にあった時に、すぐ駆け込める子供一〇番の家は機能しているか。PTAと連携していついかなる場合でも対応できるような取り組みをしてはどうか。

答 従来から協力をお願いしていた子供一〇番の家について再確認を行い、新たに指定をお願いしている。今後、子供たちの更なる周知や保護者との連携が十分できるような取り組みをそれぞれの学校へも周知徹底したい。



子供110番の家

その他の質問

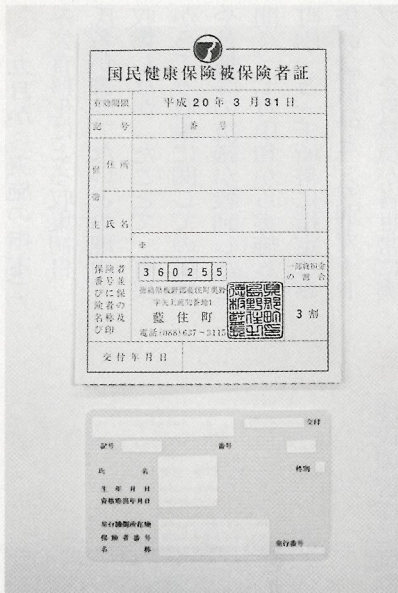
- 国民文化祭
- 公共下水道事業
- 税滞納金の徴収状況

国民健康保険証個人カード化について

いずれはカード化は必要であると考える

問 平成十三年四月より厚生労働省にて、健康保険法施行規則等の一部を改正する省令が施行され被保険者の個人カード化が実施されるようになり被保険者証の個人カードに移行するなど導入が進められております。今まで原則一世帯に一枚配布されていた連名式の健康保険証が、家族一人に一枚宛配布されることにより小型化で常時携帯できること又家族同士が別の医療機関で同時に受診できるなど利便性が図れる分であります。本町において被保険者証の個人カード化に対する取組みについて伺います。

答 カード化に対応する電算システムの構築、印刷機器等の対応状況を検討し、費用対効果を考える必要がある。この問題に関し、政府は平成二十三年度を目的地として、社会保障カードの導入を発表。ICチップによりセキュリティを確保し、年金手帳や健康保険証等の役割を持ち、写真を貼付することにより身分証明書にも使用できることも検討されているようである。費用の問題、国の制度改正の動向等を見極め、取り組んでいきたい。



現被保険者証とカード見本



古川 義夫 議員

入札制度の改善について

一般競争入札を否定するわけではない

問 公共工事をめぐっては、各地で談合などの疑惑が指摘され知事や市長をまきこんだ官制談合事件により行政のトップが逮捕される事件が多く発生しております。こうしたことから入札は一般競争入札が原則であり指名競争入札は例外であるのに例外が原則化していったことに問題があつたのではないかと考えます。本町の入札はすべて指名競争入札であります。市長は第六七条では指名競争入札できる場合を三項目にわたって示しており、市長は第何号に該当するとして指名競争入札にしているかその根拠をお示し願います。

答 地方自治法施行令第一六七条により指名競争入札によることができる場合は、物件の売買その他の契約で、その性質又は目的が一般競争入札に適しないものをするとき。

二 その性質又は目的により競争に加わるべき者の数が一般競争入札に付する程度に少数である契約をするとき。

三 一般競争入札に付することが不利と認められるとき。

とされている。一般競争入札は競争性が高い反面、不良不適合業者の混入する可能性が大きい。客観的に判断すると、本町で現在実施している指名競争入札は、先の三項目全てに該当すると思う。

町道江ノ口新居須線、笠木の 県道北交差点改良

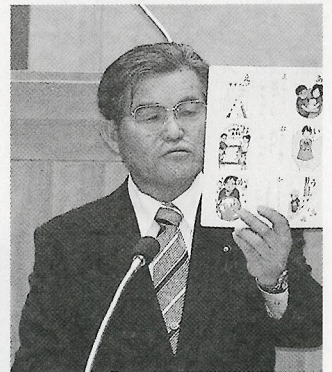
地権者の方と十分話をさせていただきながら取り組んでいきたい

問 徳島北環状線沿、大型電気店相次開店、松茂吉野線沿にも次々量販店進出の現状、朝夕の通勤時間帯、週末時各店売出しで交差点渋滞が生じ地域住民、又笠木東野団地の方には車の渋滞で江ノ口新居須線に車が出るのに大変苦慮している。又車とフェンスの狭い間の自転車通学は大変危険である。地権者、関係者の方に十分主旨説明して頂き右折レーン、歩道設備確保で安全安心改良を。

答 平面図が作成できたので、地権者の方への説明や徳島土木事務所及び徳島県警と協議を行い、国費採択事業などクリアしながら計画していききたい。

防犯対策「子供を守る防犯カルタ」

学校と連携しながら子供たちの防犯対策を進めたい



永浜 茂樹 議員

問 八月二十九日徳島新聞掲載、子供を狙った事件が全国で多発する中、鳴門教育大学院在学近藤純子先生がみんなで学ぼう防犯カルタ作成、命の大切さや防犯時の対処法を分かり易い言葉と親

しみやすい絵で表現、カルタを通して道徳教育の指導との事。進呈して頂いたカルタの対応、教育委員会はどのように受け止め、又現在の指導、今後の対策は。



防犯カルタ (近藤純子先生作成)

答 学校においては、機会を捉えてその都度、子供たちの発達状況に合わせて防犯対策等に取り組んでいるところであるが、今後も引き続き新たな対策も含め、種々の対策を講じることが重要であると考えている。教育委員会としても、子供の安全に関する情報の効果的な共有システム事業等を積極的に導入したい。

その他の質問

- ごみ袋有料化(各地域説明対話集会を)
- 町民の健康維持(薬学博士・村上光太郎先生の講演を)
- 減災目指し、緊急地震速報の導入
- 国民文化祭に備え休耕田に「コスモス」を
- 平成十六年台風二十三号浸水道路改良進捗は

文化の町藍住町、合併後現在迄の 世帯数と人口の推移に伴う施設対策

厳しい財政状況の中での建設は困難、今後の課題である

問 昭和三十年世帯数一、九一三戸が現在一一、七三〇戸人口も三二、九二二人と年次増加傾向、隣接市町村のように劇団、コンサート、講演や演奏等有料イベントが出来る様に、町民会館福祉センターの改築、町民に夢を

答 町民会館・福祉センターについては、各種会議や小規模のイベント等の会場として現在有効に利用いただいており、建築から年数は経過しているが、現状の施設規模としては、まだまだその役割を果たすことができるものと考えている。施設の修繕などを行いながら、できるだけ有効利用できるように、施設の管理に努めていきたい。

町政のここが聞きたい

不透明な指名競争入札

公平公正な入札が執行され、適正な請負契約が
できている

問 今回の浄水場整備事業では六社を指名して三社が辞退した。西クリの改修工事でも五社のうち二社が指名を辞退するという前代未聞のことが起きている。入札の際に何があったのか説明を求めます。また、これに期に不透明で政、官、業の癒着の温床である指名競争入札はやめて、今や世間の常識となっている一般競争入札にしてはどうか。

答 一般競争入札は発注標準書等の整備や適正な参加条件の設定など不測の日数を要することなどから、最低制限価格及び予定価格の事前公表を行い、設計金額に応じた業者の技術力、受注能力等を反映した指名競争入札にするのが最良だと判断している。なお、今後の大規模工事についてはその都度検討していきたい。

クルクル変わる教育行政

今後の動向を見守りたい



喜田 敏夫 議員

問 中央教育審議会はこのほど学習指導要領の改定素案を発表しました。週五日制は維持しながら一日の時間を増やし、総合学習を週一時間減らし、小学生に英語授業をとりいれる。中学校では武道（柔道、剣道）とダンスを必修科目とする。

などが盛り込まれているが、教育現場での反応はどうか？

答 現在、総合学習の時間等を活用し週一時間程度英語学習に取り組んでおり、この点については本町としては問題は少ないと考えている。現在の小学校における総合学習は、今後も推進

していく必要があると考えている。武道については、我が国固有の伝統と文化に触れる一環として、体力づくりもかねて体育でも取り組まれるようになったのではないかと。



集積所に出されているごみ袋

町民のプライバシーは守れるのか？

情報部分を細かく裁断したり、内袋、新聞等での包装をお願いしている

問 九月から有料指定ごみ袋での収集業務が開始されたが、氏名を記入していないものは収集しなかつたことから町内全域で大混乱が起きた。町は「減量化と分別に町民個々に責任を持ってもらうため」というが、ごみ袋の中は家庭のプライバシーがいっぱい詰まっている。個人情報保護は、それが責任を取るのか。

答 プライバシーは守られて当然であり、また、尊重しなければならぬと考えている。集積所に鍵を設けるなどして、ごみ排出から町がごみを回収するまでの間のプライバシーの保護対策を今後検討したい。

全国学力テスト・学習指導要領の改正

～課題克服と成績の公表、総合学習の今後について～

学校別成績については公表しない

問 テスト結果により教育委員会や学校は課題を把握し改善を図る為に今後どのような取組みをするのか。結果の公表は市町村教育委員会や各学校の自主判断に委ねられていますが本町はどうするのか。

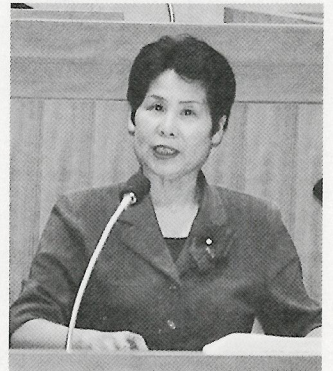
「ゆとり教育」から学力重視への方針転換のなか、現在実施の個性や地域性を活かした成果のある総合学習はどうするのか。

答 今回の調査を一人ひとりの学力や学習状況の把握はもとより今後の指導や学習の改善に生かしていくことが重要であると考えている。結果が出た時点で取り組めるよう準備をしておくよう学校現場にも話をしていく。

藍住町の特性や地域の教育力を生かした総合学習は、藍住町の子供の心豊かな成長に欠かせないものであり、引き続き関係者の理解と支援をいただきながら進めていきたい。

災害時福祉

～要援護者への対策と福祉避難所の設置について～
福祉避難所は現在一ヶ所指定



西岡 恵子 議員

問 本町の地域防災計画によるとあらゆる段階において災害弱者の実状に応じた配慮を行う必要があると示されているが対象者の把握名簿作成、連絡網等具体的支援計画について尋ねる。また、災害避難所とは別に福祉避難所の設置を防災計画の中に位置づけすべきと考えるが如何か。

答 災害時要援護者台帳について、台帳情報を有効利用していくシステムの構築とともに、関係機関と協議の上、早急に整備を進めた。新たな福祉避難所の指定

は具体的な計画がまだであり、今後、福祉施設等関係機関と協議する中で、災害時協定も含めて検討したい。

ごみ処理の減量化実施

～指定ごみ袋実施状況・資源リサイクル推進について～
広報や回覧板等を通じてリサイクル団体の募集記事を掲載したい

問 指定ごみ袋配布の際、町民から廃プラスチックの収集日増の要望があったと

聞く、対応をどうするのか。町内各種団体が資源リサイクルの取組みをすることで減量化、活性化が図られると考えるが町としての推進計画について尋ねる。

答 廃プラスチックの収集日の増加については、今のところ、まずは減量化への工夫と協力をお願いしたい。リサイクル運動を行いごみを減量化することに対し、地元自治会や学校関係等の団体が取り組んでいただける意向であれば、今後、報奨金制度を検討したい。



集積所に大量に出された廃プラスチック類

その他の質問

- 住民参加の町づくりについて
- 入札制度改革について

町政のここが聞きたい

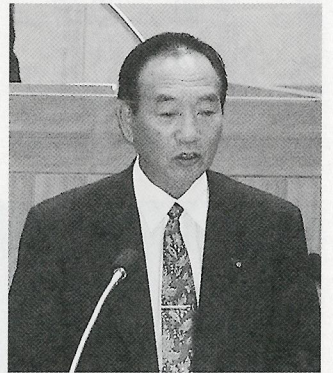
国保税は、払える額にしてほしい

特別な事情がある場合、条例で軽減または免除できる旨の規定がある

問 自民・公明党が定率減税を廃止した結果、住民税が大増税。収入は減るのに増えるのは税金ばかりだ。国保税や介護保険料は払える額にしてほしいの声。

生活保護を受けている方々は、憲法と生活保護法で定められた最低生活ラインなので、保険料や医療費が免除される。だが生活保護と同じ収入しかない人に二十一万円もの国保税を支払えと言うのは無茶だ、支払える額にするために減免制度をつくるべきだ。

答 特別な事情がある場合で、資産の活用を図ってもなお全額納付が困難であり、納税義務者から減免申請があった場合、減免あるいは徴収猶予の措置が必要か判断しなければならぬと考えている。一律に減免制度を適用するというのではなく、個々の生活状態等を勘案して減免するという形の制度となっており、そういった制度を利用しながら減免制度自体を考えていきたい。



林 茂 議員

ごみの減量化は、町民の協力が不可欠だ
ある一定の成果が達成されれば、記名制の継続について今後検討したい

問 ごみ袋の有料化は、ごみの減量が目的なのに、ごみ袋に名前を書かすのは、プライバシーの侵害でないのか、板野郡内の町では、名前を書いていなくても回収している。柔軟な対応が必要でないのか。

アルミ缶、スチール缶の回収業者の選定と引き取り単価はいくらか、見積もりは取ったのか。
低所得者に対するごみ袋の負担軽減策は、どのような結論か。

答 町内で発生したごみは町内で処理することを原則と考え、従来から町内業者にお願している。当町はリサイクルセンターがないため、分別圧縮等の作業費がかかり、それを差し引いてアルミ缶は一キロ当たり十五円、スチール缶は無料である。

低所得者に対するごみ袋の負担軽減策については、平成二十年度から実施する計画である。

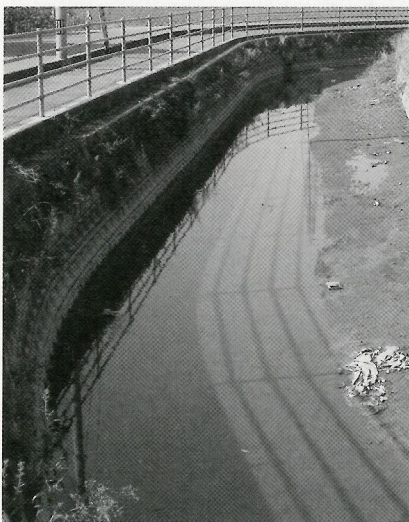
その他の質問

● 公共下水道

町の排水路の具体的な改修計画を
大雨に備えて排水路の拡幅が必要な場所もある

問 台風シーズンに備えて、地域の排水路が機能されることが、住民にとって非常に重要。洪水ハザードマップが作成され、町内の状況は把握されているが、今後の具体的な改修などの年次計画を立てることが必要でないのか。

答 主に古いコンクリートで劣化した部分、擁壁が倒れかけている部分等の箇所を計画的、また必要であれば早急に改修を行っている。ポンプ機能の向上を国交省に陳情している。



排水路

視察研修報告

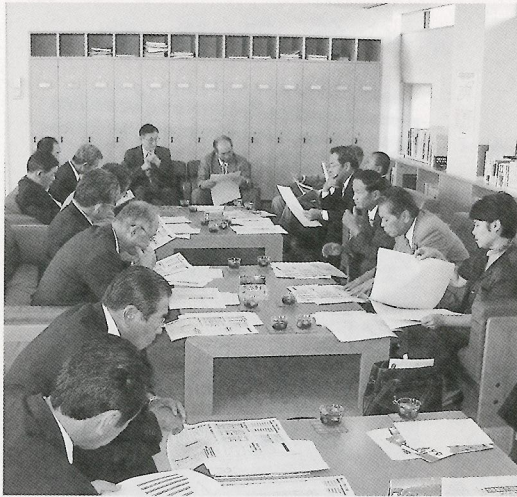
八月二日から四日、青森県、岩手県で視察研修を行った。

青森市浪岡の浪岡城跡は、勝瑞城館跡と同じく中世の城館跡であり、北日本を代表する城跡である。昭和十五年に青森県で初めて国史跡指定を受け、昭和五十二年度から歴史公園整備のための発掘調査を開始し、多くの遺物・遺跡の発見があり、調査結果を受け、平成元年から体験しながら歴史学習のできる場所、史跡公園に整備を行っている。また、発掘された遺物や浪岡の歴史を中世の館で保存、

展示している。

青森県三戸町では、平成十七年度より道の駅、給食センター、人材派遣（各種受付、清掃、施設管理、補助事務等）、職員研修を一括民間委託している。一括委託することにより総合的計画的運営が見込まれ、コストが削減されること。今後、保育所、児童館、各種研修、広報発行、文化・スポーツイベント、等も検討していくとのことで、基本的な事務以外を委託し、職員数も八〇人程度とする計画である。

岩手県紫波町は、循環型



三戸町

まちづくりに取り組んでおり、循環型まちづくり条例及び紫波町環境・循環基本計画を策定、「資源循環」、「環境創造」、「環境学習」のまちづくり、「交流」によるまちづくりの四つの方針を掲げている。資源循環のまちづくりでは、堆肥製造や粉炭、木質ペレットの製造等の有機資源循環、地元木材の利用、森林の機能維持等の森林資源循環、捨てない、燃やさない、埋め立てないの無機質資源循環の三つの柱からなっており、今の環境を保全し、創造し、一〇〇年後の子供たちに確実に引き継ぐ、環境と福祉のまちを目指して取り組んでいる。

定例会案内

次の定例会は12月です。
次号は2月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

本会議を傍聴しませんか？

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますので御了承下さい。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関する御意見をお寄せ下さい。

投稿規定

- 一 住所・氏名・電話番号を明記。
- 二 掲載時に匿名を希望する方は「希望」を記入してください。
- 三 字数は五〇〇字以内。
- 四 投稿者の多く場合、掲載月を調整する場合があります。

町民の声

やめて欲しい街宣車の連呼

匿名希望

来年の2月は、町会議員の選挙である。選挙戦の最中は憂うつである。声を枯らして住宅街を回り、名前を連呼する選挙カーがやってくるからだ。1台が去って、ようやく静かになったと思ったら又、次の一団。朝から晩まで静まることがない。窓を閉め切っても聞こえる大音量。特に2月は、高校受験、大学受験の真っ最中でもあり、病気で寝込んでいる人もいるのだ。

自ら足を運んで聞きに行く講演会等とは違い、街頭演説や選挙カー移動の際の声は、好むと好まざるとに関わらず耳に入ってくる。言いたい事だけ言って、通り過ぎてしまう選挙カーが腹立たしいのは無理もないと思う。生活リズムを乱すだけの選挙カーでの連呼はやめてもらいたい。

立候補予定者の皆さんで話し合って、静かな選挙運動を実現して頂きたい。

わたしの一言

富吉 飯田 勝 敏さん

両親共に藍住生まれの藍住育ち。当然、旧の藍園村と呼ばれていた時代です。
 富吉に家を建てたのは32年前。当時、トラック1台やっと通れるぐらいの道で、側溝は勿論無く、電気、電話の電柱さえありませんでした。
 設置許可を地主さんに頼みにいき、その上、自己負担が要った記憶があります。そうして家が建った時は、まさに野中の一軒家でした。
 道路が広がり舗装され、側溝も整備されるにつれて、家が建ち、アパート、マンションまで出来、藍住町の人口が増えていくのが現実として実感できます。
 藍住町では広域連合として、来年の4月から75歳以上の後期高齢者医療制度が始まります。両親はこれに該当し、私の扶養家族からこちらに移行する事になります。自己負担額は全国平均6,200円で、徳島県はそれよりも高くなりそうだと聞いています。
 年金から介護保険料が天引きされている上に、来年からこれも天引きされ、年金の受け取りがさらに減る事になります。我家の家計では年間8万円以上の負担増となり、頭の痛い問題となりそうです。



丹精をこめて菊を育てられているご両親

議会のういき Schedule

8月

- 2~4日 議員視察研修 (青森県・岩手県)
- 9日 後期高齢者医療広域連合議会議案等説明会(徳島市)
- 17日 後期高齢者医療広域連合議会定例会(徳島市)
- 18~19日 山形県河北町阿波踊り訪問(ニューウエーブ・べに花)
- 23日 第1回臨時議会
- 24日 板野郡町議会議長会定例会・正副議長と県知事との意見交換会(上板町)
- 29日 議会運営委員会 愛媛県西予市議会 視察来庁 給食民間委託推進協議会

9月

- 3日 公共下水道事業受益者負担等審議会
- 9日 藍住中・東中体育祭
- 10日 9月定例議会開会
- 11日 農業振興地域整備促進協議会
- 14日 9月定例議会一般質問
- 17日 敬老のつどい
- 19日 給食民間委託推進協議会
- 20日 民生委員推薦会
- 22日 南幼・南小・北幼・北小運動会
- 23日 東幼・東小運動会
- 25日 国民体育大会秋季大会壮行会
- 30日 西幼・西小運動会

10月

- 3日 なくせじん肺キョーラバン要請行動
- 4日 公共下水道事業受

編集後記

今年は、例年になく暑い日が続いた。気象庁始まって以来の四〇・九度という最高気温を全国で二ヶ所同時に記録したと聞く。例年だと、お盆を過ぎると静かになるクマゼミの声を九月に入っても聞いた。セミの世界にも何か異常が起こったのだろうか。

異常といえば、国会も異常であった。開会するなり首相の突然の辞任。大事な国会審議を中断しての総裁選挙と首相指名選挙。これも異常である。自然界も政界も正常であつてほしいものだ。ただし、中身の濃い熱い議論は多いに期待する。



藍翠苑のバラ

議会たより編集委員会

- 委員長 西岡 恵子
- 副委員長 小川 幸英
- 委員 林 茂
- 委員 喜田 敏夫
- 委員 奥村 晴明